

Indicators Update

2012 年 11 月 30 日 全 5 頁

10 月消費統計

自動車消費金額が減少したものの、その他の項目は総じて好調

経済調査部

エコノミスト 齋藤 勉

[要約]

- 実質消費支出は 2 ヶ月ぶりに前月比で増加：2012 年 10 月の家計調査によると、実質消費支出は前年比▲0.1%と 2 ヶ月連続のマイナスとなった。季節調整値は前月比+0.6%と 2 ヶ月ぶりの増加、振れの大きい住居や自動車などを除いた実質消費支出（除く住居等）で見ても、同+2.0%と 2 ヶ月ぶりの増加となった。エコカー補助金終了の影響により、自動車消費金額は減少が大きいものの、その他の項目の消費金額は総じて増加している。供給側の統計である商業販売統計を見ても 10 月の小売金額は増加しており、10 月の個人消費は内容としても良いものであったと評価している。
- 先行きは低調な推移を見込む：今冬の賞与は前年と比べて減少が予想されており、所得環境は弱含みが続く。また、年内は景気後退局面が続くとみており、消費者マインドも緩やかに悪化方向に向かう可能性がある。所得環境、消費者マインドの悪化を通じて、年内から年明けにかけて個人消費は低調な推移が続くだろう。

図表 1：各種消費指標の概況

			2012年 7月	8月	9月	10月	出所
家計調査	実質消費支出	前年比	1.7	1.8	▲ 0.9	▲ 0.1	総務省
		前月比	▲ 1.3	2.2	▲ 1.9	0.6	総務省
	実質消費支出（除く住居等）	前月比	▲ 0.7	3.0	▲ 2.7	2.0	総務省
商業販売統計	小売業	前年比	▲ 0.7	1.7	0.4	▲ 1.2	経済産業省
		前月比	▲ 1.5	1.5	▲ 3.5	0.7	経済産業省
消費総合指数		前月比	▲ 0.9	1.6	▲ 0.7		内閣府
百貨店売上高		前年比	▲ 3.3	▲ 1.0	▲ 0.2	▲ 2.4	日本百貨店協会
コンビニエンスストア売上高		前年比	▲ 3.3	▲ 1.3	▲ 1.6	▲ 2.1	(社) 日本フランチャイズチェーン協会
スーパー売上高		前年比	▲ 4.9	▲ 1.3	▲ 2.0	▲ 4.0	日本チェーンストア協会
外食売上高		前年比	▲ 1.7	2.3	3.6	▲ 2.1	(社) 日本フードサービス協会
旅行取扱高		前年比	5.4	5.7	▲ 4.5		観光庁

(注) 百貨店売上高、コンビニエンスストア売上高、スーパー売上高の前年比は店舗数調整後。

(出所) 各種統計より大和総研作成

10月の消費は2ヶ月ぶりに前月比で増加

2012年10月の家計調査によると、実質消費支出は前年比▲0.1%と2ヶ月連続のマイナスとなった。季節調整値は前月比+0.6%と2ヶ月ぶりの増加、振れの大きい住居や自動車などを除いた実質消費支出（除く住居等）で見ても、同+2.0%と2ヶ月ぶりの増加となった。

エコカー補助金終了の影響により、「自動車購入費」を中心とする「交通・通信」は弱含んでいるが、その他の項目の消費金額は総じて増加している。供給側の統計である商業販売統計を見ても10月の小売金額は増加しており、10月の消費金額は内容としても良いものであったと評価している。

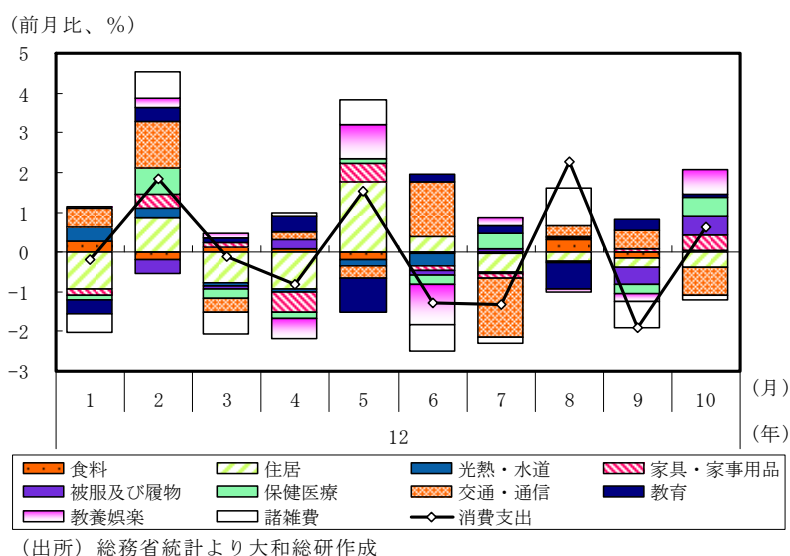
今冬の賞与は前年と比べて減少が予想されており、所得環境は弱含みが続く。また、年内は景気後退局面が続くとみており、消費者マインドも緩やかに悪化方向に向かう可能性がある。所得環境、消費者マインドの悪化を通じて、年内から年明けにかけて個人消費は低調な推移が続くだろう。

主要項目の動き：自動車消費金額が減少したものの、その他の項目は総じて好調

家計調査の主要項目の動きを確認すると、「被服及び履物」、「教養娯楽」、「家具・家事用品」などが増加している（図表2）。10月は中旬以降全国で気温が低下し、秋冬物衣料品や暖房器具などの季節商材に対する消費が増加した。結果として、「被服及び履物」の実質支出金額は前月比+11.2%、「家具・家事用品」も同+10.3%と、それぞれ大幅の増加となった。また、旅行などのサービス支出を中心として、「教養娯楽」も前月比+6.6%と増加している。

エコカー補助金終了に伴い、「自動車購入費」を中心とする「交通・通信」は前月比▲4.9%と全体を押し下げる格好となった。しかし、その他の項目は総じて増加しており、10月の個人消費は好調に推移したと言えよう。

図表2：実質消費支出の項目別寄与度



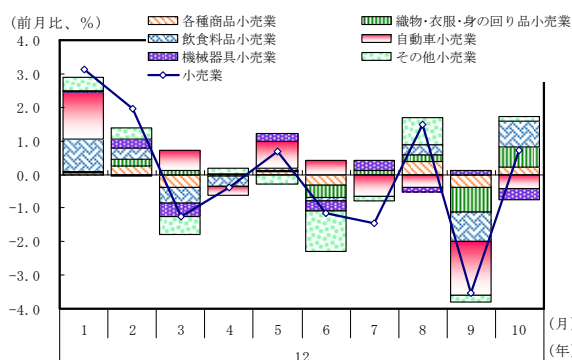
商業販売統計の名目小売販売金額も2ヶ月ぶりに前月比で増加

供給側から個人消費動向を捉えた商業販売統計の結果を見ると、10月の名目小売販売総額は前年比▲1.2%と3ヶ月ぶりのマイナスとなった。季節調整済み前月比で見ると、+0.7%と2ヶ月ぶりのプラスとなっている（図表3-1）。エコカー補助金の終了に伴う、「自動車小売業」の減少は続いているものの、「織物・衣服・身の回り品小売業」が、前月からの反動で同+7.5%と大きく増加したこと、「飲食料品小売業」も前月比+2.5%と増加していることから、全体では小幅ながらの増加となった。

消費者マインドは2ヶ月連続の悪化だが、横ばい圏での動きが続く

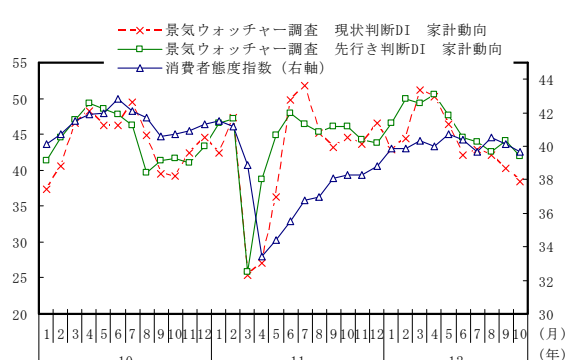
10月の消費者態度指数は、前月差▲0.4ptと2ヶ月連続の下落となった（図表3-2）。ただし、均して見ると横ばいの動きが続いており、景気後退局面入りの中でも消費者マインドは比較的好調に推移していると言えよう。

図表3-1：小売販売額の商品別寄与度



（出所）経済産業省統計より大和総研作成

図表3-2：消費者マインドの推移



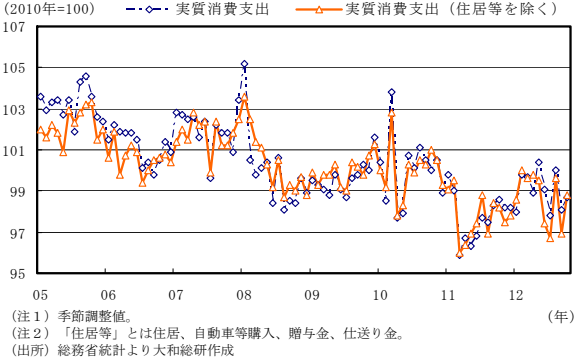
（出所）内閣府統計より大和総研作成

先行きは低調な推移が続く見込み

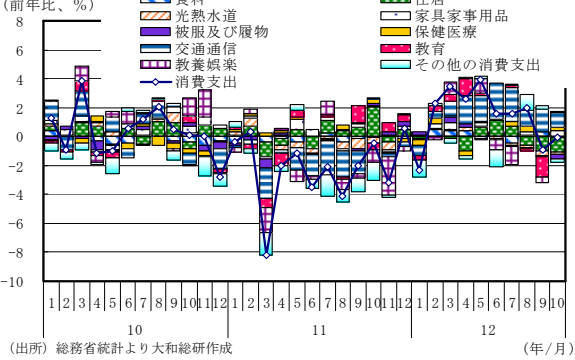
企業業績の下振れにより、今冬の賞与は前年と比べて減少が予想される。また、年内は景気後退局面が続くとみており、現在横ばい圏で推移している消費者マインドも悪化に向かう可能性がある。所得環境、消費者マインドの悪化を通じて、年内から年明けにかけて個人消費は低調な推移が続くだろう。

消費・概況

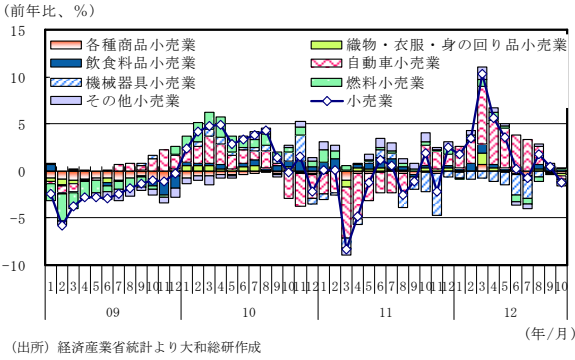
実質消費支出（家計調査、二人以上世帯）



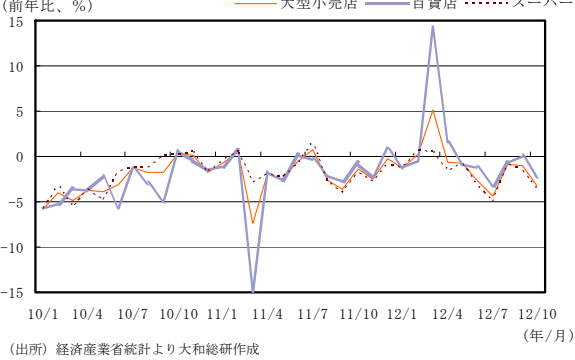
実質消費支出の項目別寄与度



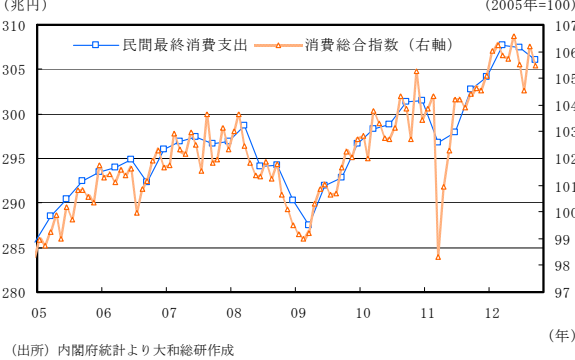
商業販売統計小売業販売額の推移（前年比）



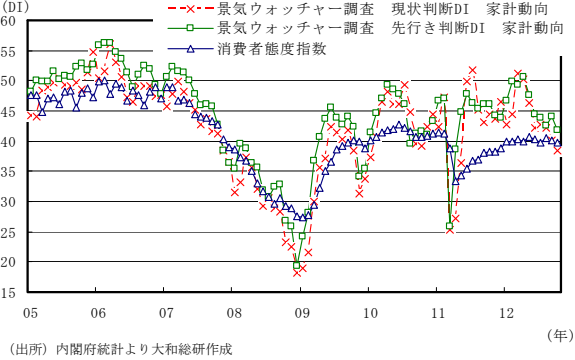
大型小売店販売額推移



GDPベースの民間最終消費支出と消費総合指数

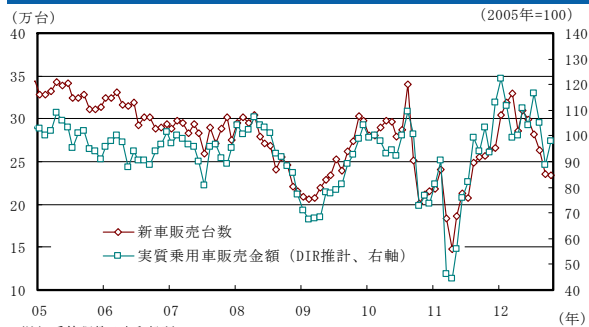


消費者マインド

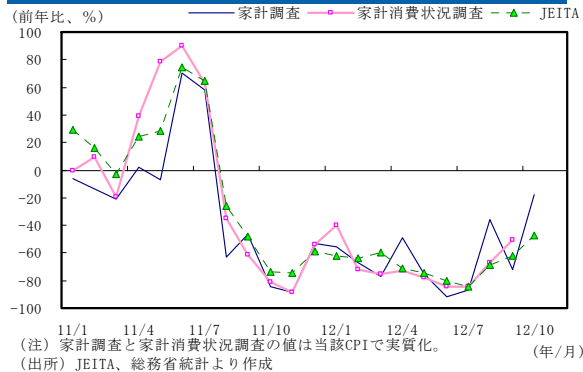


消費・協会統計

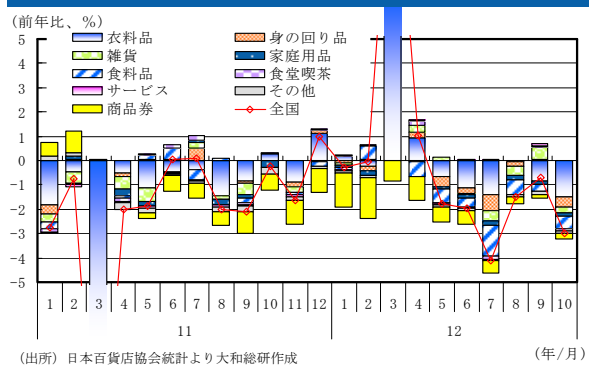
新車販売台数と実質乗用車販売金額



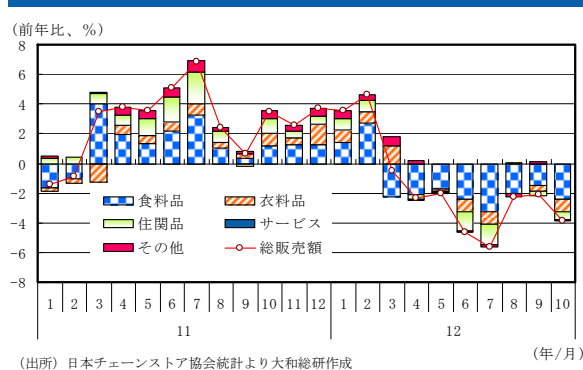
テレビ消費額と出荷台数



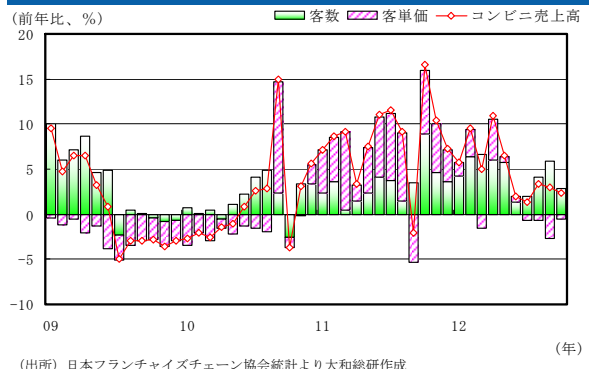
百貨店売上の寄与度分解 (品目別、店舗数調整前)



スーパー売上の推移 (店舗数調整前)



コンビニ売上高 (店舗数調整前)



外食市場売上高

